

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ダイビル株式会社（証券コード：－）

【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	安定的		
債券格付	A	→	A+
発行登録債予備格付	A	→	A+

【据置】

国内CP格付	J-1
--------	-----

■ 格付事由

- 商船三井（親会社）が100%出資する不動産会社。主としてオフィスビルを中心に賃貸事業を展開。大阪及び東京の好立地に物件を保有するなどその事業基盤は強固である。親会社グループの顧客基盤、事業基盤、財務基盤等の経営資源を活用できるなど大きなシナジー効果が期待できる。
- 親会社グループの支配・関与の程度、事業の結び付きの強さ等を踏まえ、当社格付には親会社グループの信用力を強く反映し、親会社グループの信用力と同水準としている。なお、23年2月22日にJCRでは親会社の長期発行体格付を1ノッチ引き上げ「A+/安定的」と公表しており、当社の格付についても同様に1ノッチ引き上げ「A+/安定的」とした。
- 親会社は海運事業をコアとし、物流や不動産といった海運業以外の事業領域の比重を高める方針である。その中で不動産事業は注力施策の一つとして位置づけられ、同事業の中核である当社のグループにおける重要性は高まっている。今後は、親会社の経営資源を背景に当社の事業基盤は強化されるとみられる。
- 当社は賃貸事業を主力事業としており業績/キャッシュフローは安定している。御堂筋ダイビルや八重洲ダイビルの建て替えによる賃料収入の減少はあるものの、新規物件取得などで今後も業績/キャッシュフローは底堅く推移するとみられる。積極的な不動産投資により財務負担は重くなるとみられるが、親会社のサポートなどが期待でき特段懸念はないと考えている。

（担当）窪田 幹也・里川 武

■ 格付対象

発行体：ダイビル株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第14回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年3月4日	2024年3月4日	0.845%	A+
第15回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	150億円	2015年3月3日	2025年3月3日	0.803%	A+
第16回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年12月15日	2031年12月15日	0.850%	A+
第17回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年10月25日	2028年10月25日	0.564%	A+
第18回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月19日	2034年7月19日	0.780%	A+
第19回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月19日	2039年7月19日	0.960%	A+
第20回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年3月5日	2030年3月5日	0.340%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	500 億円	2023 年 1 月 26 日から 2 年間	A+

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	350 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023 年 2 月 27 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「不動産」(2011 年 7 月 13 日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022 年 9 月 1 日) として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) ダイビル株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル